

全国イノベーション推進機関ネットワーク
平成30年度事業報告及び事業収支決算報告
(平成30年4月～平成31年3月)

全国イノベーション推進機関ネットワーク
(Innovation Initiative Network JAPAN)

I. 平成30年度事業報告

1. ネットワークの活用・強化

会員である産業支援機関等による全国ネットワークは、全国イノベーション推進機関ネットワーク（イノベーションネット）の最大の特徴であり、強みである。

このネットワークを活かし、地域の産業支援機関が求めている国・関係機関の政策情報や他地域の先進的な産業振興の仕組みなどの事例を、ホームページやメールマガジン等を通じてタイムリーに提供した。また、会員の開催するイベント等について、依頼に基づいてその情報を広く発信し、広報・普及の一端を担った。

また、会員またはその地域だけでは解決しないテーマ等について、これに対応できる組織との繋ぎ・橋渡しを行い、問題解決に向けての連携促進を図った。

2. イノベーションネットアワードの実施

イノベーションネットアワードは、各地域における地域産業支援の先進事例を共有する仕組みとして、イノベーションネットの存在意義を示す重要な事業である。

今年度は、引き続き以下のような取組を行い、イノベーションネットアワード事業の充実を図った。

① プログラム表彰の実施

平成29年度と同様、7月に募集を開始して産業支援機関、大学及び金融機関等に応募を広く呼び掛けるとともに、応募者拡大に成果を上げている他薦制度についても一層の周知を図った結果、31件の応募を得た。応募プログラムについては、事務局によるヒアリング調査、審査委員会による書類審査、さらにプレゼンテーション審査を経て、最終的に3大臣賞をはじめ7件の受賞プログラムを決定した。

② 堀場雅夫賞の実施

地域イノベーション創出に貢献した個人を対象とした「全国イノベーション推進機関ネットワーク堀場雅夫賞」については、13名の推薦を受け、選考委員会での選考結果を基に2名の受賞者を決定した。

③ 受賞事例の発信

イノベーションネットアワード受賞内容については、2月22日に開催した「イノベーションネットアワード2019表彰式・記念フォーラム」での受賞者による発表をはじめ、ホームページや専門誌「産業立地」2019年3月号（一般財団法人日本立地センター発行）を通じて受賞者の優れた取組及び波及効果並びに事業展開などの情報も含め広く情報発信を行い、イノベーションネットアワードの存在感を高めた。

④ イノベーションネットアワード受賞事例集の作成・普及

イノベーションネットアワードの受賞プログラムについては、毎年、表彰時に開催する記念フォーラムの講演資料を公開しているほか、過年度分も含めた「イノベーションネ

ットアワード受賞一覧」の冊子作成・配布等によりその周知を図ってきたところである。受賞事例の横展開や新たな支援プログラムを創出するための参考とするためには、より詳細な情報提供が必要との考えから、過年度の47受賞プログラムについて、事業に取り組んで苦労したことや事業の成功要因も記載するとともに、受賞後の取組についてもフォローし、「47のチャレンジ」として取りまとめた。これを印刷物として配布したほか、ホームページにも掲載し、さらに、後述の地域イノベーション手法研究会などを通してこの普及を図った。

〈イノベーションネット2019 地域産業支援プログラム表彰〉

受賞名	機関名	事業名
経済産業大臣賞	公益財団法人石川県産業創出支援機構	県内支援機関の共同によるアントレプレナーシップ醸成からベンチャー企業の創出・育成までのシームレスな支援体制の構築
文部科学大臣賞	国立大学法人室蘭工業大学	大学の研究成果等を活用した中小ものづくり企業の発展に貢献する事業（全国規模の鋳物関連中小企業広域ネットワーク（鋳物シンジケート）の構築および支援）
農林水産大臣賞	公益財団法人宮崎県産業振興機構	みやざきフードビジネス相談ステーション
全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞	公益財団法人ふくい産業支援センター	ふくいオープンイノベーション推進機構
一般財団法人日本立地センター理事長賞	公益財団法人みやぎ産業振興機構	水産加工業の新たな発展に向けた伴走型支援の展開
優秀賞	群馬県信用保証協会	女性創業応援チーム「シルキー クレイン」をはじめとした創業トータルサポート体制
	公益財団法人神戸市産業振興財団	「神戸開業支援コンシェルジュ」「神戸起業操練所」「100年経営支援事業」による総合的な創業支援

〈イノベーションネットアワード2019 地域産業支援者表彰〉

受賞名	受賞者
全国イノベーション推進機関ネットワーク堀場雅夫賞	竹井 智宏 氏 (一般社団法人 MAKOTO 代表理事)
	好満 芳邦 氏 (公益財団法人くれ産業振興センター 常務理事)

3. ローカルイノベーションの推進

日本各地で地方創生に向けた取組が行われているが、この実現のための一手段として、地域に合ったローカルイノベーションの推進に多くの自治体、支援機関、大学・研究機関等が取り組んでいる。

イノベーションネットでは、文部科学省、農林水産省、経済産業省と省庁を超えた連携の中で、8年間にわたって地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネットアワード）を実施してきており、地域産業支援機関、大学、金融機関等多様な機関が連携しながら進めてきたローカルイノベーションの実現を後押しする多くの情報を蓄積してきている。これを活用してローカルイノベーションの一層の推進を後押しするため、昨年度に引き続き、産業支援機関等を対象とした「イノベーションネットアワード受賞事例に基づく地域イノベーション手法研究会」を9月に新潟市、12月に広島市で開催した。

開催にあたっては、それぞれの地域の特徴を踏まえ、また、会員等から意見を聞きながら事前に2テーマを設定し、前半はテーマごとに受賞機関から講師を招いて講演を行うとともに、後半は当該内容を踏まえ、2班に分かれてグループ討議を行い、地域ニーズに適合した優れた取組の普及とこれを活用する人材の育成を図った。

4. イノベーションネットの見直し

創設以来10年を経過したイノベーションネットについて、近年の環境変化を踏まえ見直しの検討に入った。

5. 各種協力事業

会員等が行う新事業支援を目的とする下記のセミナー、研修、事業等について、会員等の要請に基づき後援するとともに、ブース出展、情報発信等の協力を行った。

実施日・期間等	主催	対象催事等	支援内容
6月13日～ 11月30日	一般財団法人日本立地センター 一般社団法人 JBJA	平成30年度インキュベーション・マネジャー養成研修	協力
11月6日	西武信用金庫	第19回ビジネスフェア by SeibuShinkin Bank	後援
11月19日	一般社団法人 JBJA	2018JBIA シンポジウム～IM 活動の海外コネクション～	後援
2月5日	独立行政法人中小企業基盤整備機構	JVA2019 (Japan Venture Awards 2018)	後援

Ⅱ. 事業収支決算報告

平成30年度収支決算報告（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	内 訳	差 異
収入の部 会費収入	5,770,000	5,825,000	正会員 @100,000×55 機関 5,500,000 @100,000×1 機関 100,000 注)過年度分納付 学術機関会員 @15,000×15 機関 225,000	55,000
収入合計	5,770,000	5,825,000		55,000
支出の部 事業経費	5,193,000	5,276,446	ネットワーク活用・強化事業 1,903,335 イノベーションネットアワード事業 3,373,111	83,446
事務局経費	577,000	548,554	収入額の10%以内 548,554	▲28,446
支出合計	5,770,000	5,825,000		55,000
収支差額	0	0		0